


道東観光開発の安全対策・安全運航の取組

	(事業者名)	道東観光開発株式会社
	(所在地)	斜里町ウトロ東 107 番地
	(電話番号)	0152-24-2146
	(運航コース)	カムイワッカの滝航路・秘境知床岬航路
	(運航期間)	5/20～10/25
	(運航船舶数)	1 隻
	(会社HP)	https://www.ms-aurora.com/shiretoko/

◆安全対策・安全運航の取組み

運航前の点検やメンテナンスの徹底

発航前検査、巡視記録、陸上施設点検、無線テスト、他甲板・機関記録等毎日実施。船体・救命設備は毎年運輸局検査官立会いのもと検査・部品交換・入替にてメンテナンス徹底。船員による消耗品交換（甲板部、機関部）。

他船との連絡体制強化

都度の船・陸の連絡体制は確立済。他は非常時緊急連絡網や自社のクライシスマネジメントを用いた連絡体制あり。ウトロ海域漁船・遊覧船等の連絡網の活用。ウトロ漁協幹部・各漁業者社長携帯登録済。

気象条件の慎重な判断

早朝と都度の打合せ（船長、運航管理者）後運航可否、多種の気象情報収集（GPV・気象庁・各気象サイト気圧配置や注意報・警報等参考）
（運航基準／風速 20m/s 以下・波高 2.5m 以下・視程 500m 以上）

漁船とのコミュニケーションの強化

シーズンの始まりと終わりのご挨拶訪問（漁協・航路上・営業所近隣の漁業者）
他、緊急連絡先確立済。

単独での出航禁止

救命支援艇・救命筏搭載の船につき、単独でも運航。万が一の有事の際は非常連絡表を用いて直ちに救助要請。

◆その他PR事項

- ・既存の安全の取り組みをHPなどに掲載。【別紙参照】
(<https://www.ms-aurora.com/shiretoko/pdf/safety.pdf>)
- ・月一操練と年一操練（防火・防水では浸水を想定し、人口蘇生救命訓練後に退船・陸地までけん引）訓練実施。

安全運航への取り組み

安全な船旅を提供するにあたって、船舶の安全設備や日頃の点検活動についてご紹介します。

船内設備

●救命設備について

最大定員数分（390名）の救命胴衣・救命筏他、救命時の設備を搭載しております。



↑救命胴衣



↑膨張式救命筏
←救命浮環



↑膨張式救命筏支援艇

●通信設備について

緊急時、海上保安庁の巡視船や他船とも連絡が取れる無線機器や現在地を知らせる機器を搭載しております。



↑VHF国際無線機



↑27MHz帯
SSB送受信装置



↑衛星電話



↑衛星EPIRB
(非常用位置指示
無線標識装置)

日々の点検

●発航前検査

船体に損傷がないか、航海計器類・機関室内の機器類は正常に作動するかなどを出航前に点検を実施します。

●船内巡視

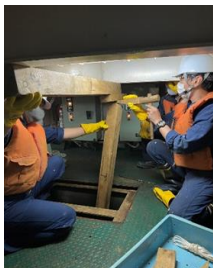
航行中、船内に異常がないか見回りを行います。
(知床岬航路の場合、出航時・折返し時の計2回行います。)

●定点連絡通報

各航路の折返し時、入港時等の所定の地点他、海況に変化が生じた場合、陸上の事業所に海上模様等の報告を行います。
(知床岬航路の場合、所定通過地点も含め計4回の連絡を行います)

●定期的な非常時訓練

毎年5月、膨張式救命いかだを使用しての退船訓練（船から脱出する際の誘導訓練）・浸水訓練（船が浸水した際の対処訓練）・防火訓練等の総合的な訓練を実施しています。
月に一度、防火・浸水訓練、救命設備点検等を実施します。



船体整備

5年に一度の定期検査、1年に一度の中間検査を運輸局立会いのもと実施している他、無線検査・救命筏検査・船体検査・運航前検査等の各種検査も毎年実施します。



冬季・夏季の運航終了後、釧路のドックに移動し、船体の塗装他、甲板・機関室内の機器類のメンテナンスを行います。



※安全管理規程・運航基準に関しましては、当HPに記載しております。